

株式会社第六十五銀行 神戸市兵庫戸場町（原書 P140～146）

設立 明治三十一年一月

目的 一般銀行業

資本金 貳百萬円也 払込額百拾萬円也

重役の氏名

取締役 藤田助七

取締役 上村喜平

同 藤井定介

同 乾 新兵衛

同 増田 斜

監査役 鈴木岩次郎（原文ママ。正しくは“岩治郎”）

監査役 宇都宮直七

同 大原與左衛門

沿革 現状

同行は元寒天業にして豪商たりし故池田貫兵衛氏を中心とし、明治三十一年一月設立せるものにして、主として兵庫米肥雜穀商の金融機関を目的とせり。当時米肥雜穀界は資産信用あるもの比較的僅少にして、従って経営の衝に当るものは少なく共敏腕家を要するや勿論なり。

然るに、同行は最初より適任者を得ざりし結果、常に成績の見るべきもの無く頗る苦心し、之れが挽回策として当時正金銀行員たりし関口直徳氏を支配人に挙げ、経営大に努めしが、漸次成績の良好となり漸く愁眉を開きしに、幾何も無くして遂に一大整理を断行するの止む無きに至り、経営上の蹉跌を来せり。

而して、其の主因は数年来取引せる京都市堺力蔵神戸支店主任、瓜谷英一氏は同業者中の手腕家と目され、殊に銀行家を籠絡するに妙を得、同行をして正金銀行の信用状に対する保証人たらしめたり。

然るに、大正元年末に至り同店は相場の激変により数十萬円の大欠損を生じ、遂に破産せしかば、保証人たりし同行は勢い正金銀行に対し責任を果さざる可からざる事となれり。之即ち、同行整理の主因たりしなり。

茲に於て鈴木商店に援助を求め、同店の主張を容れて整理を断行せり。当時同行の資本金壹百萬円、払込金八拾五萬円を資本金五拾萬円払込済に減資し、此差額參拾五萬円及積立金拾參萬四千六百円、滞貨準備金拾六萬円並に前期繰越金四萬五千円を以て諸損金六拾九萬壹千余円を補填せり。

斯くして、同行は茲に清浄健全なる状態となりたるを以て、直ちに資本金を貳百萬円に増加し、従来兵庫部本位たりしを更に神戸部及大阪に支店を設け、鈴木商店の手に依りて経営せらるることとなり、同時に旧重役は引責辞任し既重役の就任を見るに至り、尔来専ら堅実主義の下に長期の貸付を避け、主として商業手形の割引及当座貸越を為し、其他の貸付金は時節柄船舶担

保約六割、不動産担保一割六分、有価証券商品担保二割四分位にして、^{しか}而も担保付貸付金は総貸付額の二分五厘位に過ぎずして、^{そのた}其他は当座貸越、手形貸付、コール等なれば、従て危険の程度比較的^{きんしょう}僅少なりと云ふべし。

^{しこう}而して、^{ゆうきん}遊金の運用に就ては比較的^{ついで}多額ならざる結果ならんも、有価証券の購入等を避け、大部分はコール^{もし}若くは鈴木商店に一時利用を依頼する等の遣り口にして、従て株界の騰落に就ては担保品以外利害関係^{きんしょう}僅少なり。

然れば、同行の現状としては急激な発展は期し難きも、漸次^{ぎょうそ}業礎^{きょうそ}確實を期し、整理以来每期七朱の配当を持続し、本上半期は八朱配当希望者ありしも、当分七朱にて益々業礎を強固ならしむる方針なりと云ふ。

現在支店は神戸市内^{なもん}多聞通、西柳原、兵庫、南支店、^{たきみち}瀧道、神戸支店の六ヶ所及大阪支店一ヶ所あり、経営の首脳者としては元住友銀行にて相当経験を有せる取締役上村喜平氏なるが、氏は整理当時鈴木商店側を代表し就任せるものにして、経営上の大体方針は鈴木商店の意見に依るものなる事は勿論なり。

大正六年上半期決算左の如し

(単位：円)

資 産 之 部		負 債 之 部	
未払込株金	900,000.00	資本金	2,000,000.00
証書貸付	1,711,220.51	法定準備金	75,000.00
手形貸付	962,029.07	行員退職給与金	3,570.00
当座預金貸越	1,119,181.20	当座預金	4,088,110.77
割引手形	8,575,068.74	特別当座預金	4,151,474.80
荷付為替手形	326,185.08	通知預金	55,000.00
他店へ貸	1,072,361.45	定期預金	4,793,994.23
支払承諾見返	16,142.18	他店より借	1,204,899.42
預ヶ金	94,534.49	支払承諾	16,142.18
露国証券	86,044.32	再割引手形	203,277.98
諸公債証書	386,890.00	未払利息	89,126.69
営業用土地建物什器	109,680.00	未経過割引料	43,750.28
所有不動産	12,534.75	当期純益金	92,140.23
現金在高	1,444,614.79		
合計金	16,816,486.58	合計金	16,816,486.58

利益分配案

金 九萬貳千百四拾円貳拾參銭 当期利益金

内訳

金 貳萬五千円也	法定積立金
同 壹萬円也	本店新築積立金
同 八千五百円也	賞与金
同 參萬八千五百円也	配当金（年七朱）
同 貳千円也	行員退職給与金
同 八千百四拾円貳拾參銭	後期繰越金